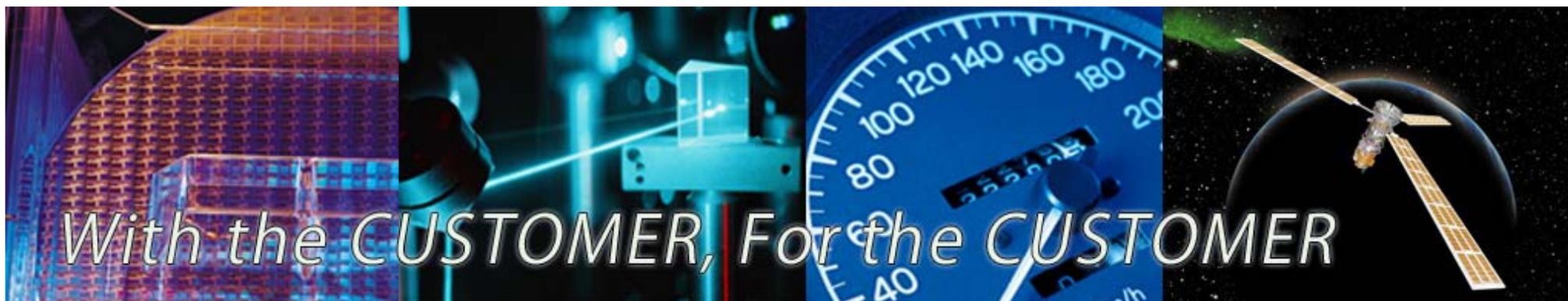


# 2015年3月期 第2四半期 決算説明会



2014年11月

 **丸文株式会社**

(証券コード：7537 東証1部)

# 2015年3月期 第2四半期 連結決算概要

[www.marubun.co.jp](http://www.marubun.co.jp)

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

- ・ 第2四半期の決算概要につきましてご説明いたします。

## 2015年3月期 上期 連結決算サマリ (対前年同期比)

### 売上高は、38億円増 (+3.2%) の1,231億円

- **デバイス事業** 通信モジュール向け特定用途ICやOA・産業機器向け半導体の増加で2.4%増
- **システム事業** 試験計測機器や科学機器が好調で8.9%増

### 営業利益は、2.5億円減 (-21.7%) の9.1億円

- **売上総利益率** 7.1% → 6.6%

### 経常利益は、6.1億円減 (-52.0%) の5.6億円

- **為替差損** 外貨建て資産・負債の時価評価差額等4.5億円

### 四半期純利益は、3.1億円減 (-54.5%) の2.6億円

## 2015年3月期 上期 業績サマリ

| (百万円)         | 14/3月期 上期      |               | 15/3月期 上期      |               | 対前年同期比       |               | 【ご参考】          |               |
|---------------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|---------------|----------------|---------------|
|               | 実績             | 構成比           | 実績             | 構成比           | 金額           | %             | 15/3月期 期初予想    |               |
|               |                |               |                |               |              |               | 上期             | 構成比           |
| <b>売上高</b>    | <b>119,373</b> | <b>100.0%</b> | <b>123,190</b> | <b>100.0%</b> | <b>3,817</b> | <b>3.2%</b>   | <b>114,000</b> | <b>100.0%</b> |
| デバイス事業        | 104,950        | 87.9%         | 107,488        | 87.3%         | 2,538        | 2.4%          | 100,000        | 87.7%         |
| システム事業        | 14,423         | 12.1%         | 15,701         | 12.7%         | 1,278        | 8.9%          | 14,000         | 12.3%         |
| <b>売上総利益</b>  | <b>8,448</b>   | <b>7.1%</b>   | <b>8,157</b>   | <b>6.6%</b>   | <b>△ 291</b> | <b>-3.4%</b>  | <b>7,800</b>   | <b>6.8%</b>   |
| 販売管理費         | 7,274          | 6.1%          | 7,237          | 5.9%          | △ 37         | -0.5%         | 7,500          | 6.6%          |
| 人件費           | 4,557          | 3.8%          | 4,483          | 3.6%          | △ 74         | -1.6%         | -              | -             |
| その他           | 2,717          | 2.3%          | 2,754          | 2.2%          | 37           | 1.4%          | -              | -             |
| <b>営業利益</b>   | <b>1,174</b>   | <b>1.0%</b>   | <b>919</b>     | <b>0.7%</b>   | <b>△ 255</b> | <b>-21.7%</b> | <b>300</b>     | <b>0.3%</b>   |
| 営業外収益         | 359            | 0.3%          | 345            | 0.3%          | △ 14         | -3.9%         | -              | -             |
| 営業外費用         | 360            | 0.3%          | 701            | 0.6%          | 341          | 94.7%         | -              | -             |
| <b>経常利益</b>   | <b>1,173</b>   | <b>1.0%</b>   | <b>563</b>     | <b>0.5%</b>   | <b>△ 610</b> | <b>-52.0%</b> | <b>350</b>     | <b>0.3%</b>   |
| 特別利益          | 3              | 0.0%          | -              | 0.0%          | △ 3          | -100.0%       | -              | -             |
| 特別損失          | 37             | 0.0%          | 4              | 0.0%          | △ 33         | -89.2%        | -              | -             |
| <b>四半期純利益</b> | <b>585</b>     | <b>0.5%</b>   | <b>266</b>     | <b>0.2%</b>   | <b>△ 319</b> | <b>-54.5%</b> | <b>100</b>     | <b>0.1%</b>   |
| 期末従業員数 (名)    | 1,271          | -             | 1,260          | -             | -11          | -             | -              | -             |

www.marubun.co.jp

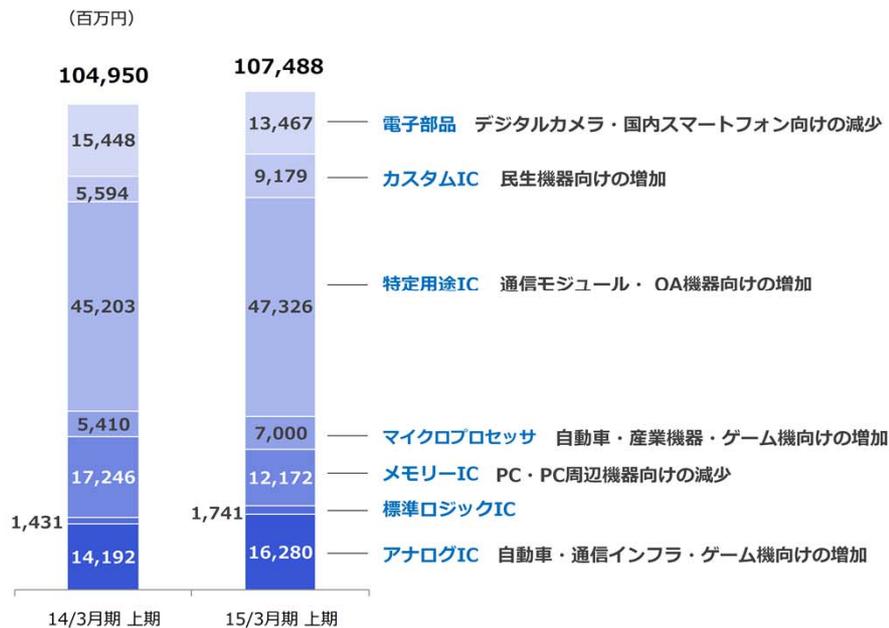
Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

4

- ・連結売上高は、前年同期に比べ3.2%増の1,231億円になりました。
- ・デバイス事業は、通信モジュール向け特定用途ICが好調に推移し、OAや産業機器向けも売り上げが増加しました。
- ・システム事業は、設備投資回復の追い風に加え、下期に予定していた案件の前倒しもあり、試験計測機器や科学機器の売上が増加しました。
- ・一方、売上総利益は、利益率の低下により、前年同期比3.4%減の81億円となりました。
- ・販管費は前年度並みを維持し、営業利益は21.7%減の9億円となりました。
- ・経常利益は、為替差損4億円を計上した結果、前年同期比52.0%減の5億円になりました。
- ・この為替差損は、9月の急激な円安の進行により発生した外貨建て資産・負債の時価評価差額であり、第3四半期には戻し入れ処理されるものであります。
- ・なお、これらの数値を5月に公表した業績予想値と比べますと、売上高では91億円、営業利益で6億円、経常利益で2億円の上振れとなりました。これは、通信モジュール向けや民生向けのICおよび試験計測機器の需要が、予想より旺盛だったことによるものです。

## 2015年3月期 上期 デバイス事業品目別売上高



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

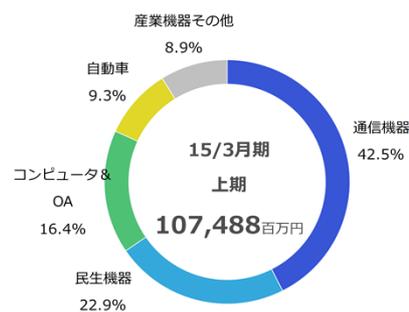
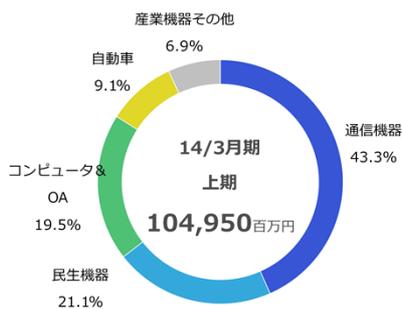
丸文株式会社

5

- ・ 売上の増減要因についてご説明いたします。
- ・ デバイス事業の売上は、前年同期比2.4%増の1,074億円となりました。
- ・ アナログICは、自動車や通信インフラ向けの需要が増加し、ゲーム機向けも好調でした。
- ・ メモリーICは、PCおよび周辺機器向けフラッシュメモリーが減少しました。
- ・ マイクロプロセッサの増加は、自動車や産業機器、ゲーム機向けの増加によるものです。
- ・ 特定用途ICの増加は、通信モジュール向けやOA機器向けの需要増によるものです。

## 2015年3月期 上期 デバイス事業用途別市場動向

| 用 途       | 市 場 動 向                       |
|-----------|-------------------------------|
| 通信機器      | → スマートフォン向け通信モジュールや通信基地局向けが増加 |
| 民生機器      | → デジタルカメラ向けが減少、ゲーム機やTV向けが増加   |
| コンピュータ&OA | → プロジェクタ向けが増加、PCおよび周辺機器向けが減少  |
| 自動車       | → ナビゲーションやエンジンコントロール向けが増加     |
| 産業機器その他   | → FA機器向けが増加                   |



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

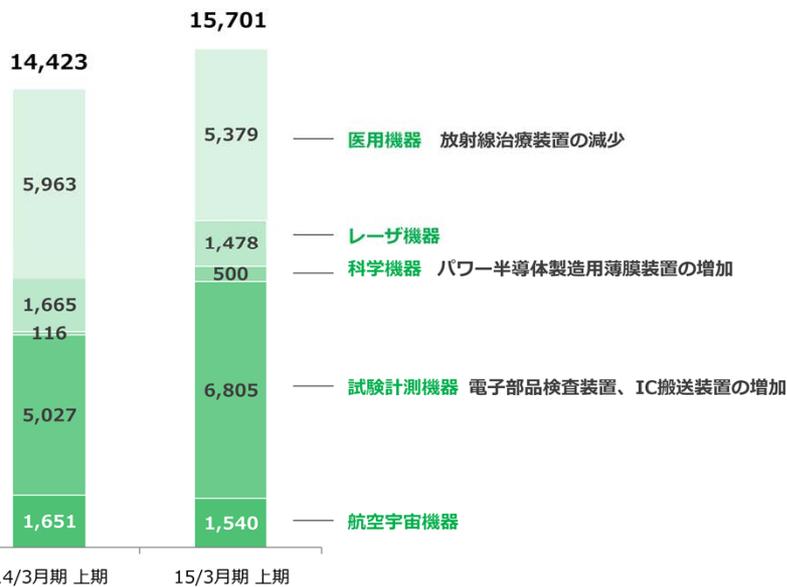
丸文株式会社

6

- 用途別の動向ですが、通信機器は、スマートフォン向けの通信モジュールや通信基地局向けが増加しました。
- 民生機器は、デジタルカメラ向けがコンパクト・一眼レフ向けとともに減少しましたが、ゲーム機やTV向けで需要が増加しました。
- コンピュータ・OAは、プロジェクタ向けが増加したものの、昨年度スポット需要のあったPC向けが大幅に減少しました。
- 自動車は、ナビゲーションやエンジンコントロール向けが増加しました。
- 以上の結果、売上構成比では、通信機器が43%、民生機器が23%、コンピュータ・OAが16%、自動車向けが9%となりました。

## 2015年3月期 上期 システム事業品目別売上高

(百万円)



www.marubun.co.jp

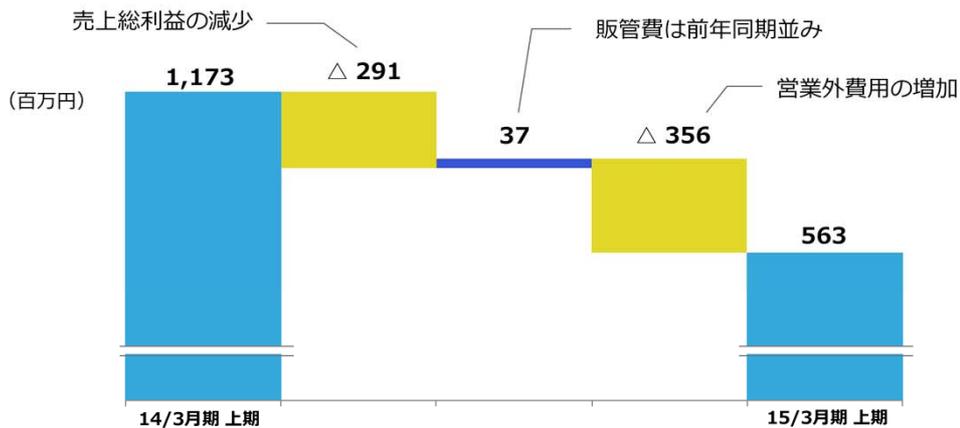
Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

7

- ・ システム事業は、売上は前年同期比8.9%増の157億円となりました。
- ・ 試験計測機器は、スマートフォン製造向けを中心とした設備投資の持ち直しにより、電子部品検査装置やIC搬送装置が好調でした。
- ・ 科学機器は、パワー半導体製造用の薄膜装置が増加しました。
- ・ 医用機器の減少は、放射線治療装置の減少によるものです。

## 2015年3月期 上期 経常利益の増減要因



**売上総利益** プロダクトミックスの変化による利益率の低下  
13/9月期：84億円（7.1%） ⇒ 14/9月期：81億円（6.6%）

**営業外損益** 為替差損  
急激な円安進行による外貨建て資産・負債の時価評価差額等 453百万円

- ・ 経常利益の増減要因についてご説明します。
- ・ 売上総利益は、前年同期に比べ3億円減少し81億円となりました。
- ・ 売上総利益率は、利益率の低い商品が増加したことにより、7.1%から6.6%になりました。
- ・ 販管費は、前年度並みを維持しましたが、営業外費用として為替差損4億円を計上しました。
- ・ 先ほどご説明しました通り、この為替差損は資金流出を伴わない外貨建て資産・負債の為替評価替えによるもので、第3四半期には戻し入れの処理を行います。
- ・ 以上の結果、経常利益は5億6千万円となりました。

## 2015年3月期 上期末 貸借対照表の概要

| (百万円)          | 14/3月期末<br>実績  | 15/3月期 上期末<br>実績 | 対前期末比<br>増減額 |
|----------------|----------------|------------------|--------------|
| 流動資産           | 99,510         | 107,359          | 7,849        |
| 現金及び預金         | 19,151         | 23,652           | 4,501        |
| 受取手形及び売掛金      | 60,944         | 56,574           | △ 4,370      |
| たな卸資産          | 16,931         | 22,944           | 6,013        |
| その他            | 2,484          | 4,189            | 1,705        |
| 固定資産           | 11,124         | 11,402           | 278          |
| 有形固定資産         | 4,277          | 4,240            | △ 37         |
| 無形固定資産         | 402            | 368              | △ 34         |
| 投資その他資産        | 6,445          | 6,793            | 348          |
| <b>資産合計</b>    | <b>110,635</b> | <b>118,761</b>   | <b>8,126</b> |
| 流動負債           | 65,114         | 73,568           | 8,454        |
| 支払手形及び買掛金      | 39,910         | 50,929           | 11,019       |
| 短期借入金等(※1)     | 22,143         | 20,054           | △ 2,089      |
| その他            | 3,061          | 2,585            | △ 476        |
| 固定負債           | 3,050          | 3,107            | 57           |
| 長期借入金等         | 1,013          | 1,009            | △ 4          |
| 退職給付に関する負債     | 1,330          | 1,379            | 49           |
| その他            | 707            | 719              | 12           |
| <b>負債合計</b>    | <b>68,165</b>  | <b>76,676</b>    | <b>8,511</b> |
| <b>純資産合計</b>   | <b>42,469</b>  | <b>42,085</b>    | <b>△ 384</b> |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>110,635</b> | <b>118,761</b>   | <b>8,126</b> |

※1 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

半導体在庫の増加

半導体需要増による仕入れの増加

www.marubun.co.jp

- ・次に貸借対照表の主要科目についてご説明いたします。
- ・総資産は、前年度末に比べ81億円の増加となりました。
- ・これは、主に売上債権が減少した一方で、棚卸資産や現預金が増加したことによるものです。
- ・棚卸資産は金額的には増加しておりますが、月商の1.1か月分であり、適正水準を維持しております。
- ・負債につきましては、半導体の需要増に伴う仕入債務の増加により、前年度末に比べ85億円増加しました。

## 2015年3月期 上期 キャッシュフロー計算書の概要

| (百万円)            | 14/3月期 上期 | 15/3月期 上期 |
|------------------|-----------|-----------|
|                  | 実績        | 実績        |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,114     | 8,110     |
| 税引前当期純利益         | 1,139     | 558       |
| 売上債権の増減額 (△は増加)  | △ 3,179   | 4,063     |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △ 146     | △ 6,123   |
| 仕入債務の増減額 (△は減少)  | 5,219     | 11,128    |
| その他              | △ 919     | △ 1,516   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 94      | △ 53      |
| フリー・キャッシュ・フロー    | 2,020     | 8,057     |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 205     | △ 3,088   |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 2,364     | 5,529     |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 19,774    | 24,505    |

半導体在庫の増加  
半導体需要増による増加

www.marubun.co.jp

- ・ キャッシュフローの状況についてですが、当上期の営業キャッシュフローは、81億円の資金の流入となりました。
- ・ これは主に、仕入債務の増加と売上債権の減少によるものです。
- ・ 投資キャッシュフローは5千万円の流出となり、この結果、フリーキャッシュフローは80億円になりました。
- ・ 財務キャッシュフローは、長期借入金の一部を返済したことなどより、30億円の資金の流出となりました。
- ・ 以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は245億円となりました。
- ・ 以上、貸借対照表およびキャッシュフローの状況をご説明しました。

# 中期ビジョン 事業戦略と重点施策の進捗

[www.marubun.co.jp](http://www.marubun.co.jp)

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

## 中期経営ビジョン 「持続的な成長が図れる筋肉質な企業の実現」

### 中期経営スローガン「Think & Action」

#### デバイス事業

- ベースビジネスの拡大
- 成長市場への対応強化
- 新規商材の開発推進
- グローバル対応の強化

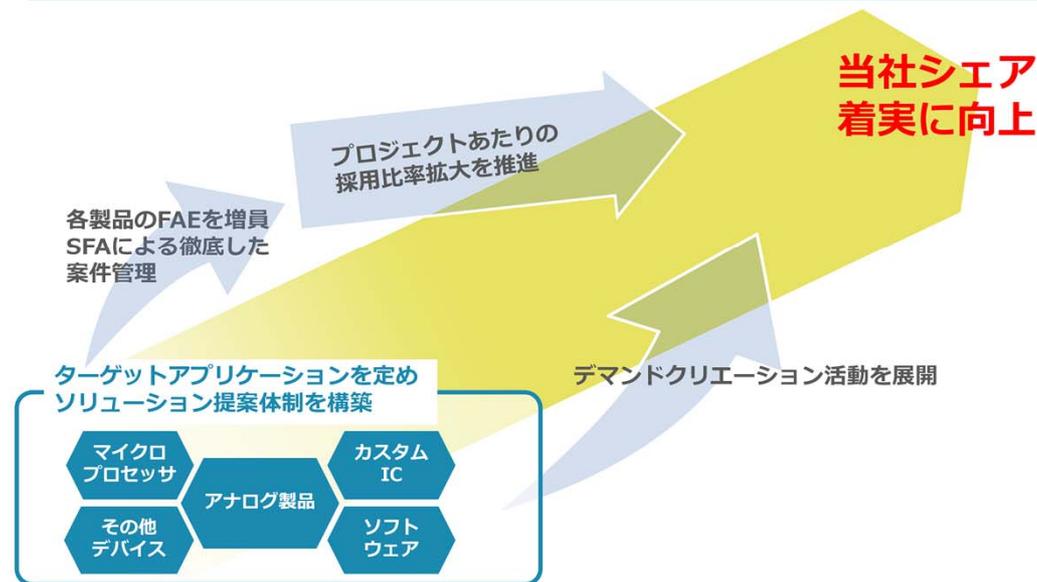
#### システム事業

- エンジニアリングサービス拡充
- 商品ラインナップ増強
- システムインテグレーション強化

- ・ 期初にご説明しました中期経営計画を実現するためのプログラム「Think & Action」に基づく、デバイス事業、システム事業それぞれの取り組み状況についてご報告します。
- ・ デバイス事業については、「ベースビジネスの拡大」「成長市場への対応強化」「新規商材の開発推進」「グローバル対応の強化」の4つの施策に取り組んでおります。

## デバイス事業：重点施策の進捗①

### ● ベースビジネスの拡大



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

13

- ・「ベースビジネスの拡大」についてですが、ターゲットとするアプリケーションを定め、アナログやマイクロプロセッサに周辺デバイスやソフトウェアなどを組み合わせたソリューション提案活動を展開しています。
- ・ソリューションを企画提案するフィールドアプリケーションエンジニアには各製品のスペシャリストを増員し、SFAによる徹底した案件管理により、プロジェクトあたりの当社製品採用比率の拡大を推進しています。

## デバイス事業：重点施策の進捗②

### ● 成長市場への対応強化



キーデバイス開発、ソリューション開発を推進

#### 主な具体策

##### 通信分野

IoT向けにセンサソリューション提案

- ▶ オリジナル評価ボード、各種アプリケーションを開発

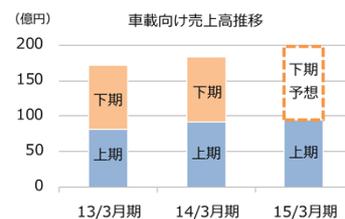


オリジナル評価ボード

##### 車載分野

車載専用の営業本部を設置して、市場を深耕

- ▶ 自動車運転支援など新技術への提案推進



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

14

www.marubun.co.jp

- ・ 「成長市場への対応強化」については、通信、車載、医療・産業機器を戦略市場とし、市場毎にプロジェクトチームを組成して、キーデバイスの開発やソリューション開発を推進しています。
- ・ 通信分野においては、家電や自動車などの機器をインターネットに接続して情報伝達やコントロールを行う「IoT」に着目しオリジナル評価ボードを開発しました。
- ・ 様々なセンサに、マイコンや通信用ICなどを搭載した、IoTのコアテクノロジーとなるセンサソリューションの提案を開始しています。
- ・ また、自動車分野については、今年度より車載に特化した営業本部を設置しました。半導体・電子部品から車載デバイス向け組立・検査装置までを一体化して取扱い、市場の深耕を行っております。
- ・ 自動運転支援やメーターパネルのフルデジタル化といった新しいアプリケーションでの引き合いが増え、売上也順調に拡大しております。

## デバイス事業：重点施策の進捗③

### ● 新規商材の開発推進

#### 環境

- 太陽光パネル
  - ・ 営農型太陽光発電設備「Solar営農」の販路強化
  - ・ 大手販売パートナー3社を追加



Solar 営農

#### 産業

- コネクタ、産業用SSD
  - ・ Molex社、SanDisk社の商権拡大
- ディスプレイ用デバイス
  - ・ Eink社電子ペーパーの拡販推進



Eink社 電子ペーパー

#### 半導体

- カスタムIC
  - ・ ASICの量産サポートと新規案件の開拓推進



Baysand社 ASIC

#### 新規商材発掘

- 米国に専従の駐在員を配置
  - ・ 数十社の企業をリストアップして開発促進

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

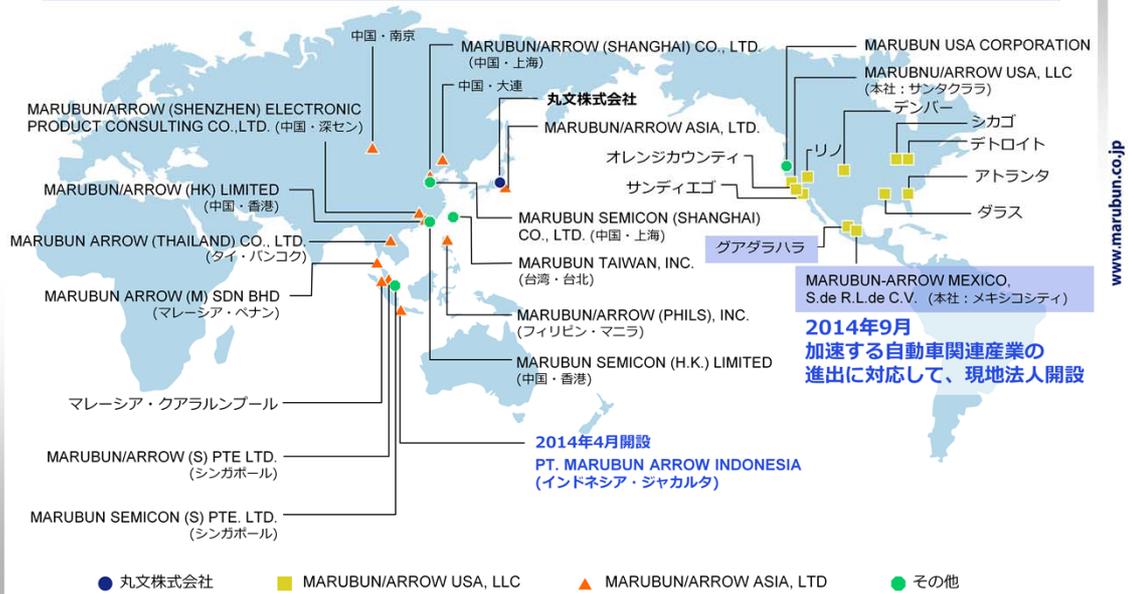
15

www.marubun.co.jp

- ・ 「新規商材の開発推進」についてはご覧のとおりです。
- ・ 太陽光パネルでは、営農型太陽光発電パック「Solar営農」の販路を強化しました。
- ・ 大手3社を販売パートナーに加え、拡販を進めております。再生可能エネルギーの制度見直しの動向を注視しつつ、事業を推進してまいります。
- ・ また、コネクタのMolex社や、産業用SSDのSandisk社についても、当社の活動が評価され、商権の拡大を見込める状況にあります。
- ・ カスタムICも、開発が終了したプロジェクトの量産サポートと新規案件の開発を進めております。
- ・ このほか、ディスプレイ用デバイスとしては、韓国製タッチパネルモジュールや、台湾Eink社の電子ペーパーの拡販を進めています。電子ペーパーは商品棚や商品タグなどの産業用途として、展示会や広告などで幅広くプロモーションを展開し、積極的に市場開拓に取り組んでおります。
- ・ 商材開発については、今年度より米国に専従の駐在員を置き、ユニークな商材の開拓を進めております。数十社の企業をリストアップして取り扱いの検討を進めておりますが、既に代理店契約を締結して販売を開始した案件もあり、順調に進んでおります。

## デバイス事業：重点施策の進捗④

### ● グローバル対応の強化



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

16

- ・ 「グローバル対応の強化」については、4月のインドネシアに引き続き、9月にはメキシコに現地法人を開設して営業を開始しました。
- ・ メキシコシティとグアダハラハラの2カ所の営業所と物流倉庫を設置し、日系自動車関連企業へのサポートを開始しております。

## システム事業：戦略・重点施策の進捗

グループ力を総動員した販売活動で  
着実な成長を推進

### エンジニアリングサービス拡充

商品ラインナップ増強

S I 強化

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| レーザー・<br>情報機器 | <ul style="list-style-type: none"> <li>産業機器への組込み用半導体レーザーの販売に注力</li> <li>オリジナルレーザー微細加工装置の拡販</li> <li>ネットワーク機器の商品ラインナップの拡充</li> </ul>                             |  <p>組込み用半導体レーザー</p> |
| 試験計測・<br>科学機器 | <ul style="list-style-type: none"> <li>ポートコンピュータのビジネス移管によるシナジー効果創出</li> <li>フォトニック結晶プロセスインテグレーションシステムで試作評価推進</li> <li>パワー半導体製造向けMoCVD装置に加えて、MBE装置を拡販</li> </ul> |  |
| 医用機器          | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型営業活動の推進</li> <li>技術サービス力の向上と販路の拡大</li> </ul>  |  |
| 航空宇宙機器        | <ul style="list-style-type: none"> <li>航空・防衛領域での高付加価値製品の拡販</li> <li>社会インフラ向け計測機器の販売促進</li> </ul>  |  |

www.marubun.co.jp

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

17

- ・システム事業では、製品分野ごとに、お客様が求める商品の品揃えを増強するとともに、システムインテグレーションやエンジニアリングサービスによる差別化に取り組んでいます。
- ・レーザー・情報機器においては、産業機器への組込み用の半導体レーザーの販売に注力しており、着実にプロジェクトの獲得に成功しています。当社オリジナルのレーザー微細加工装置についても、様々なアプリケーションで引き合いが増加しております。ネットワーク機器でも、スマートフォンやタブレット端末の普及による通信データ量の急増に伴い、対応商品の拡充に積極的に取り組んでおります。
- ・試験計測機器は、従来デバイス事業で取り扱っていたポートコンピュータのビジネスを移管し、シナジー効果の創出に取り組んでおります。4月に販売を開始したフォトニック結晶プロセスインテグレーションシステムについても、多くの引き合いをいただいております。金型の試作評価を進めております。
- ・また科学機器は、パワー半導体向けで世界トップシェアであるAIXTRON社のMoCVD装置の受注活動を推進するとともに、新たにRiber社MBE装置の取り扱いを開始して商材を拡充しました。
- ・医用機器では、地域密着型の営業活動で需要の深堀を進めています。シーメンス社の国内No. 1代理店として、さらなる技術サービス力の向上と販路の拡大に努めてまいります。
- ・航空宇宙機器は、航空・防衛領域への高付加価値製品の販売と、電力システムなどの社会インフラ向け計測機器の拡販に注力し、受注が順調に進んでおります。
- ・システム事業では、グループ企業の総力を結集した販売活動で、事業の着実な成長を進めていく方針です。

# 2015年3月期 連結業績予想

[www.marubun.co.jp](http://www.marubun.co.jp)

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

- ・ 重点施策に基づく今年度通期の見通しについてご説明いたします。

## 2015年3月期 業績予想サマリ

### 売上高は、2,630億円 (+25.7億円) の見込み

- **デバイス事業** 通信モジュール向け特定用途ICの増加、顧客商権の拡大による増収を見込む
- **システム事業** 試験計測機器、科学機器の増加、医用機器、航空宇宙機器の減少

### 営業利益は、41億円 (+1.8億円) の見込み

### 経常利益は、40億円 (+0.5億円) の見込み

### 当期純利益は、21億円 (+0.9億円) の見込み

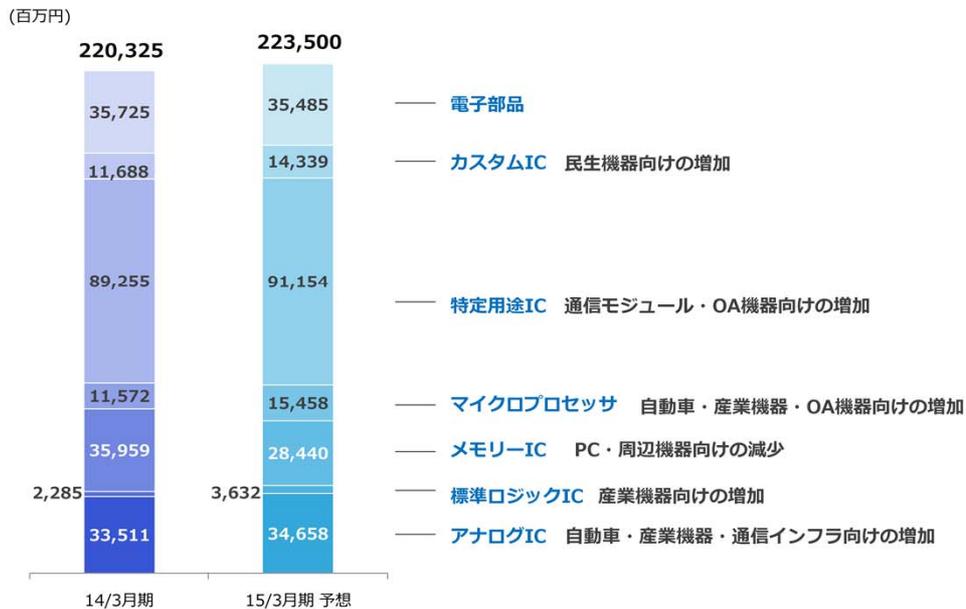
## 2015年3月期 業績予想

| (百万円)        | 14/3月期         |               | 15/3月期         |               | 対前期比         |             |
|--------------|----------------|---------------|----------------|---------------|--------------|-------------|
|              | 実績             | 構成比           | 予想             | 構成比           | 増減額          | %           |
| <b>売上高</b>   | <b>260,424</b> | <b>100.0%</b> | <b>263,000</b> | <b>100.0%</b> | <b>2,576</b> | <b>1.0%</b> |
| デバイス事業       | 220,325        | 84.6%         | 223,500        | 85.0%         | 3,175        | 1.4%        |
| システム事業       | 40,098         | 15.4%         | 39,500         | 15.0%         | △ 598        | -1.5%       |
| <b>売上総利益</b> | <b>18,842</b>  | <b>7.2%</b>   | <b>19,100</b>  | <b>7.3%</b>   | <b>258</b>   | <b>1.4%</b> |
| 販売管理費        | 14,930         | 5.7%          | 15,000         | 5.7%          | 70           | 0.5%        |
| <b>営業利益</b>  | <b>3,912</b>   | <b>1.5%</b>   | <b>4,100</b>   | <b>1.6%</b>   | <b>188</b>   | <b>4.8%</b> |
| 営業外収益        | 708            | 0.3%          | 600            | 0.2%          | △ 108        | -15.3%      |
| 営業外費用        | 675            | 0.3%          | 700            | 0.3%          | 25           | 3.7%        |
| <b>経常利益</b>  | <b>3,944</b>   | <b>1.5%</b>   | <b>4,000</b>   | <b>1.5%</b>   | <b>56</b>    | <b>1.4%</b> |
| 特別利益         | 12             | 0.0%          | 0              | 0.0%          | △ 12         | -           |
| 特別損失         | 70             | 0.0%          | 140            | 0.1%          | 70           | 100.0%      |
| <b>当期純利益</b> | <b>2,008</b>   | <b>0.8%</b>   | <b>2,100</b>   | <b>0.8%</b>   | <b>92</b>    | <b>4.6%</b> |

www.marubun.co.jp

- 上期は期初予想よりも上振れて推移したものの、一部案件が上期に前倒しになったことや、民生機器向けなどで一部弱含みの動きがみられることから、通期業績につきましては期初予想を据え置きました。
- 売上高は、前期に比べて25億円増の2,630億円の見込みです。
- デバイス事業は、通信モジュール向けICの増加や顧客商権の拡大により増収を見込んでおります。
- 一方システム事業は、試験計測機器と科学機器の増加を見込むものの、医用機器や航空宇宙機器の減少により前年度並みの売上となる見通しです。
- 売上総利益率は前年度並みを見込み、営業利益は41億円、経常利益は40億円となる見通しです。

## 2015年3月期 デバイス事業品目別売上高予想



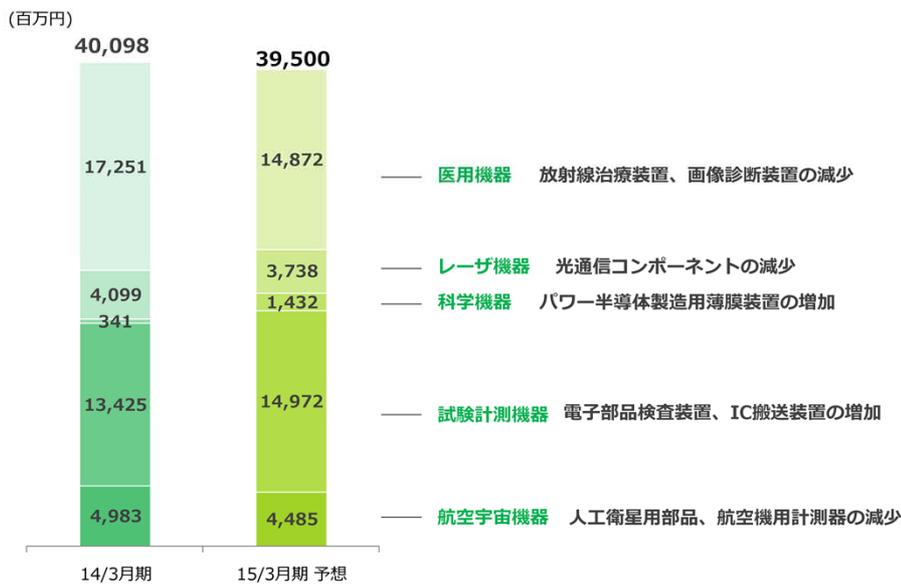
Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

21

- ・ 事業セグメント別の売上見通しについてですが、デバイス事業では、前年度に比べ31億円増の2,235億円を予想しております。
- ・ アナログICは、自動車や産業機器、通信インフラ向けの増加を見込んでおります。
- ・ メモリーICは、PCおよび周辺機器向けのフラッシュメモリーの減少を見込んでおります。
- ・ 特定用途ICは、通信モジュール向けの需要増とOA機器向けでの商権拡大による増加を見込んでおります。
- ・ カスタムICは、民生機器向けの増加を見込んでおります。

## 2015年3月期 システム事業品目別売上高予想



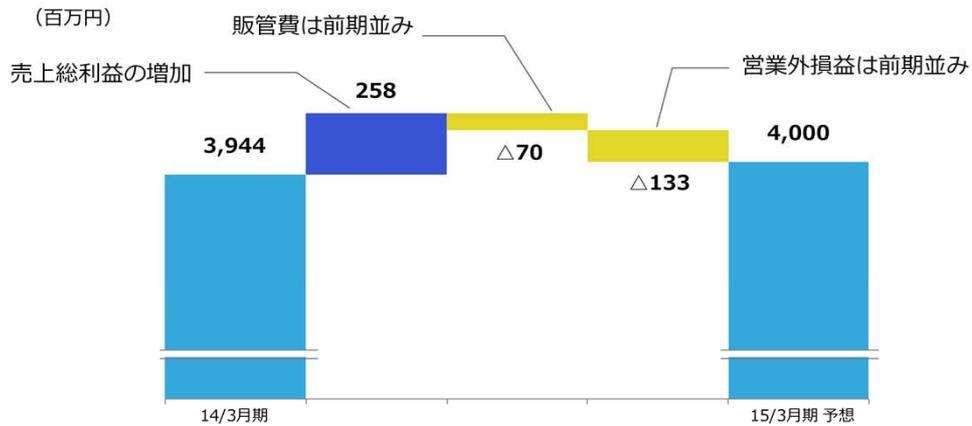
Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

丸文株式会社

22

- ・ システム事業につきましては、前年度に比べて5億円減の395億円の売上を見込んでおります。
- ・ 試験計測機器は、スマートフォン用の電子部品検査装置やIC搬送装置の増加を見込んでおります。
- ・ 科学機器の増加は、パワー半導体製造用薄膜装置の増加によるものです。
- ・ 医用機器は、放射線治療装置などの減少を見込んでおります。

## 経常利益の増減要因（前期 vs. 予想）



|       |          |                               |
|-------|----------|-------------------------------|
| 売上総利益 | 売上増による増加 | 14/3月期：188億円 ⇒ 15/3月期予想：191億円 |
| 販管費   | 前期並み     | 14/3月期：149億円 ⇒ 15/3月期予想：150億円 |
| 営業外損益 | 前期並み     | 営業外収益△108百万円、営業外費用+25百万円      |

- ・ 経常利益の増減要因についてはご覧のとおりです。
- ・ 売上総利益については、前年度より2億5千万円の増加を見込んでおります。
- ・ 販管費、営業外損益とも前年度並みを見込んでおります。
- ・ 以上の結果、前年度より微増の40億円の経常利益を予想しております。

## 株主還元

- 配当予想

| (円)        | 2014年3月期     | 2015年3月期<br>(予想) |
|------------|--------------|------------------|
| 1株当たり年間配当金 | <b>19.00</b> | <b>20.00</b>     |
| 中間配当       | 6.00         | 7.00             |
| 期末配当       | 13.00        | 13.00            |

www.marubun.co.jp

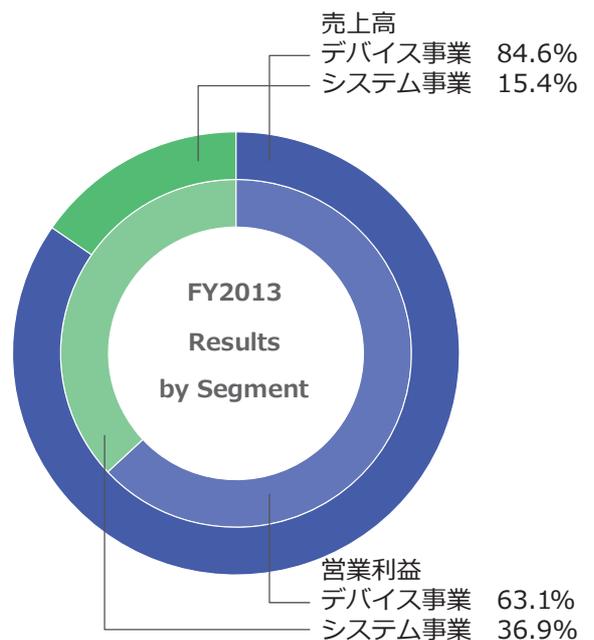
- ・株主の皆様への利益還元についてご説明します。
- ・当社は、継続的な利益還元を基本とした上で、連結配当性向25%以上もしくは単体での配当性向30%以上のいずれか多い方を目安として配当を決定していく方針です。
- ・今年度につきましては期初の計画通り、中間配当7円、期末配当13円、合わせて年間で20円を予定しております。
- ・今後とも皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 参考情報

Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

### 会社概要

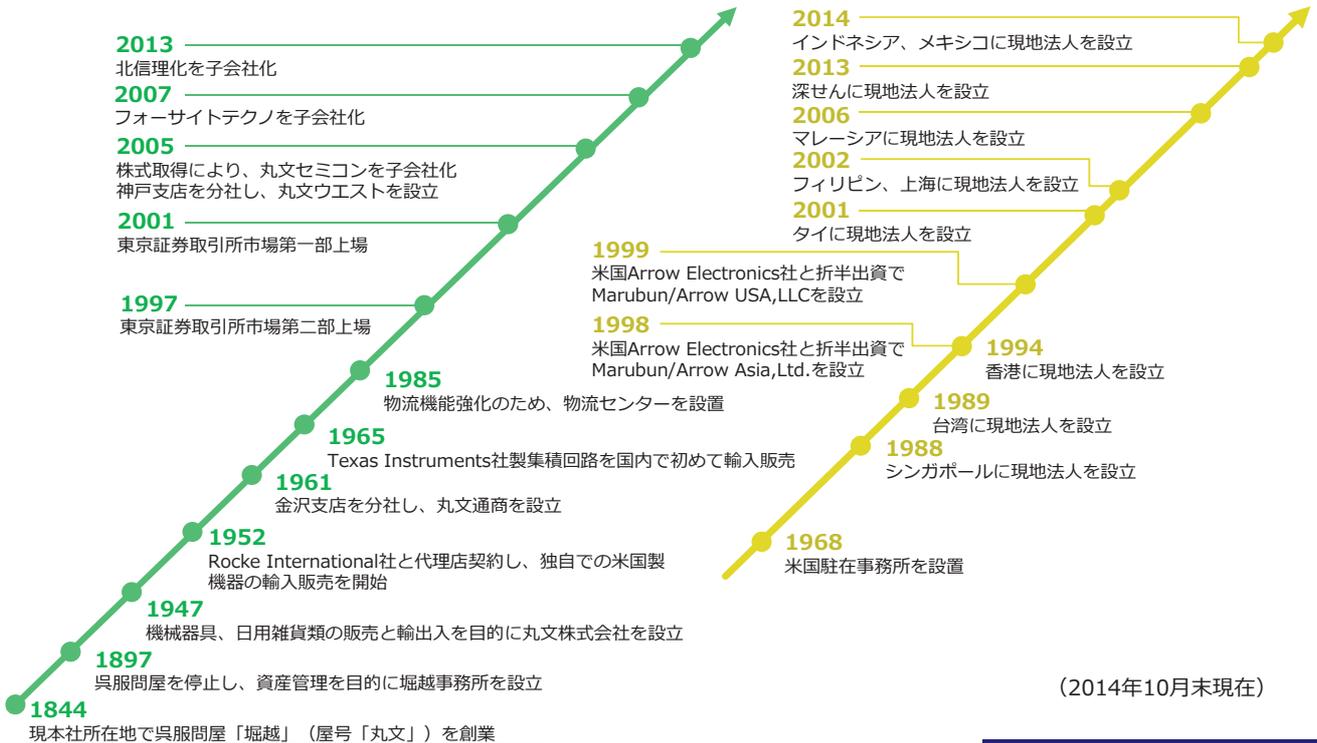
- 設立 1947年7月
- 資本金 62億円
- 事業内容 最先端エレクトロニクス機器・部品の販売
- 本社所在地 東京都中央区日本橋大伝馬町8-1
- 連結売上高 2,604億円 (2014年3月期)
- 従業員数 1,260人 (2014年9月末現在)



# 事業の変遷

## 国内

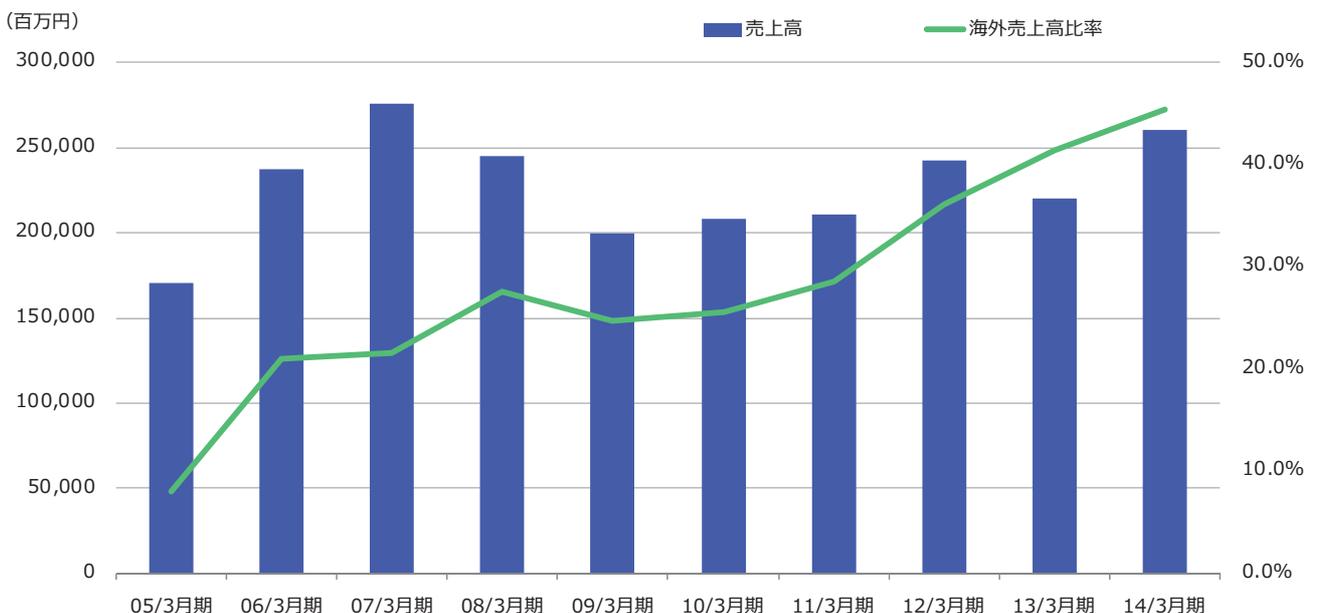
## 海外



Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.

# 中長期業績トレンド

## 日系電子機器メーカーへの海外展開サポート推進により海外売上高比率が増加



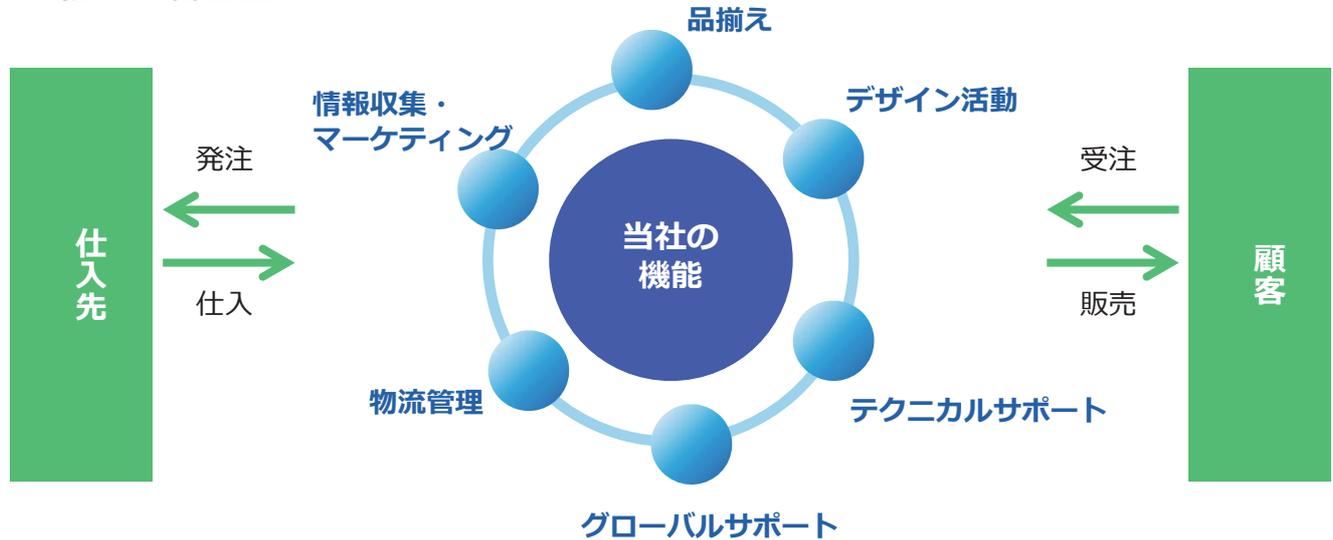
Copyright © MARUBUN CORPORATION All Rights Reserved.



## デバイス事業：特徴と強み



- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社との提携によるグローバルネットワーク
- 強い顧客基盤



## デバイス事業：グループ会社概要



| 社名  | 住所                        | 設立年月     | 出費比率   | 事業内容                      |
|---|---------------------------|----------|--------|---------------------------|
| 丸文セミコン株式会社  | 東京都港区                     | 2005年3月  | 100.0% |                           |
| Marubun Semicon (Shanghai) Co., Ltd.                            | Shanghai, China           | 2005年3月  | 100.0% | サムスン電子製半導体・電子部品の仕入販売      |
| Marubun Semicon (H.K.) Ltd.                                     | Hong Kong, China          | 2010年1月  | 100.0% |                           |
| Marubun Semicon (S) Pte. Ltd.                                   | Alexandra Road, Singapore | 2013年11月 | 100.0% |                           |
| Marubun USA Corporation   | California, U.S.A.        | 1983年10月 | 100.0% | 丸文アローUSAの持株会社             |
| Marubun Taiwan, Inc.  | Taipei, Taiwan            | 1989年11月 | 100.0% | 台湾製デバイスの仕入販売              |
| Marubun/Arrow Asia, Ltd.  | British Virgin Islands    | 1998年10月 | 50.0%  | 丸文アローシンガポール、丸文アロー香港の持株会社  |
| Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.                                      | Anson Road, Singapore     | 1988年3月  | 50.0%  |                           |
| Marubun/Arrow (HK) Ltd.   | Hong Kong, China          | 1994年8月  | 50.0%  |                           |
| Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.                              | Bangkok, Thailand         | 2000年10月 | 50.0%  |                           |
| Marubun/Arrow (Phils), Inc.                                     | Laguna, Philippines       | 2001年10月 | 50.0%  |                           |
| Marubun Arrow (M) SDN BHD                                       | Penang, Malaysia          | 2006年6月  | 50.0%  | 海外進出した日系企業への半導体・電子部品の仕入販売 |
| Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.                              | Shanghai, China           | 2002年9月  | 50.0%  |                           |
| Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd. | Shenzhen, China           | 2013年6月  | 50.0%  |                           |
| PT. Marubun Arrow Indonesia                                     | Jakarta, Indonesia        | 2014年4月  | 50.0%  |                           |
| Marubun/Arrow USA, LLC*   | Delaware, U.S.A.          | 1998年11月 | 50.0%  |                           |
| Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*                       | MexicoCity, MEXICO        | 2014年9月  | 50.0%  |                           |
| FTS株式会社*  | 東京都豊島区                    | 2006年11月 | 29.3%  | 半導体の研究・開発、開発支援            |

\* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、FTS(株)は持分法適用関連会社

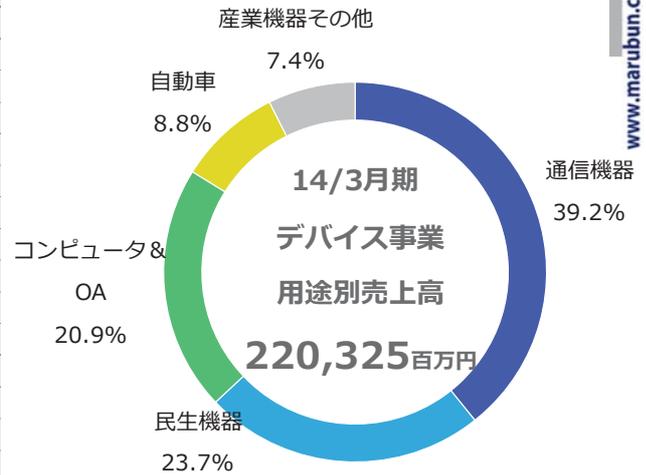
(2014年10月末現在)

## デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）



デバイス事業

|                  |             | 用途   |      |                |     |      |
|------------------|-------------|------|------|----------------|-----|------|
|                  |             | 通信機器 | 民生機器 | コンピュータ<br>& OA | 自動車 | 産業機器 |
| <b>半導体</b>       |             |      |      |                |     |      |
| アナログIC           | アナログ        | ●    | ●    | ●              | ●   | ●    |
|                  | ディスクリート     | ●    | ●    |                | ●   | ●    |
| 標準ロジックIC         |             | ●    | ●    | ●              | ●   | ●    |
| メモリーIC           | DRAM        | ●    | ●    | ●              | ●   |      |
|                  | フラッシュ       | ●    | ●    | ●              |     |      |
| マイクロ<br>プロセッサ    | MPU、MCU     | ●    | ●    | ●              | ●   | ●    |
|                  | DSP         | ●    | ●    |                | ●   | ●    |
| 特定用途IC           | ASSP        | ●    | ●    |                | ●   |      |
|                  | ディスプレイ・ドライバ | ●    | ●    | ●              | ●   |      |
|                  | DMD         |      | ●    | ●              |     | ●    |
|                  | LED         |      | ●    |                |     |      |
| カスタムIC           |             | ●    | ●    | ●              | ●   |      |
| <b>電子部品</b>      |             |      |      |                |     |      |
| 液晶パネル            |             | ●    | ●    | ●              | ●   |      |
| 有機EL             |             | ●    | ●    |                |     |      |
| 水晶デバイス           |             | ●    | ●    |                | ●   |      |
| コネクタ・スイッチ・プリント基板 |             | ●    | ●    |                |     |      |



## デバイス事業：主要取扱い製品（サプライヤ別）

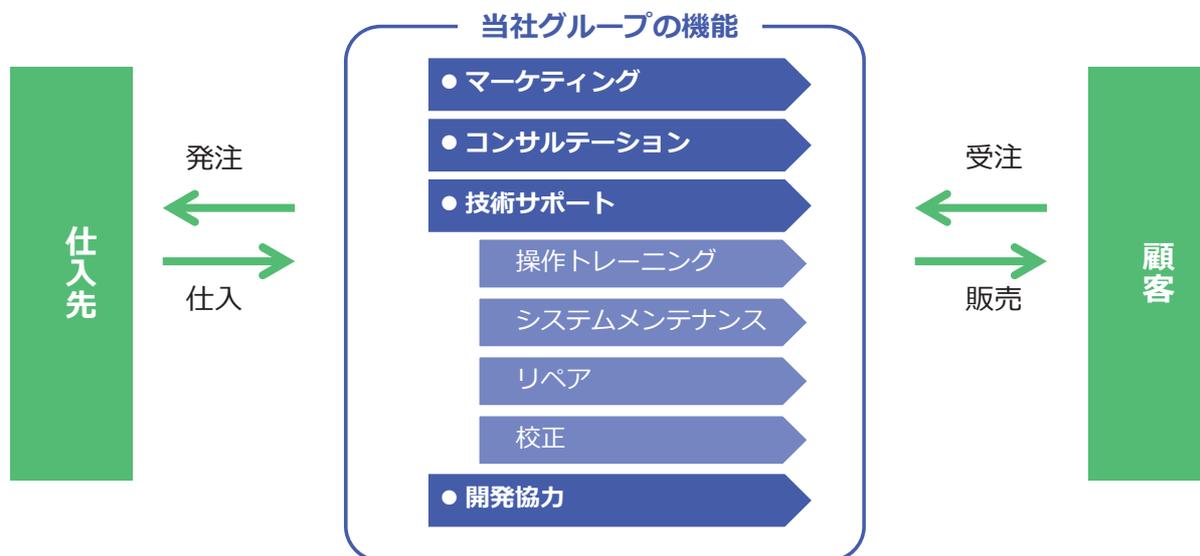


デバイス事業

|                  |             | サプライヤ（五十音順）     |           |                                |             |          |                           |              |              |             |           |
|------------------|-------------|-----------------|-----------|--------------------------------|-------------|----------|---------------------------|--------------|--------------|-------------|-----------|
|                  |             | 旭化成<br>エレクトロニクス | ISSI (米国) | インターナショナル<br>レクティファイアー<br>(米国) | サムスン電子 (韓国) | セイコーエプソン | テキサス・<br>インスツルメンツ<br>(米国) | トライクイント (米国) | フリースケール (米国) | フロードコム (米国) | マキシム (米国) |
| <b>半導体</b>       |             |                 |           |                                |             |          |                           |              |              |             |           |
| アナログIC           | アナログ        | ●               |           |                                |             |          | ●                         | ●            | ●            |             | ●         |
|                  | ディスクリート     |                 |           | ●                              |             |          |                           | ●            | ●            |             |           |
| 標準ロジックIC         |             |                 |           |                                |             |          | ●                         |              |              |             |           |
| メモリーIC           | DRAM        |                 | ●         |                                | ●           |          |                           |              |              |             |           |
|                  | フラッシュ       |                 |           |                                | ●           |          |                           |              |              |             |           |
| マイクロ<br>プロセッサ    | MPU、MCU     |                 |           |                                |             | ●        | ●                         | ●            |              |             |           |
|                  | DSP         | ●               |           |                                |             | ●        | ●                         | ●            | ●            |             |           |
| 特定用途IC           | ASSP        | ●               |           |                                |             | ●        | ●                         | ●            | ●            | ●           |           |
|                  | ディスプレイ・ドライバ |                 |           |                                | ●           | ●        | ●                         |              |              |             |           |
|                  | DMD         |                 |           |                                |             | ●        |                           |              |              |             |           |
|                  | LED         |                 |           |                                | ●           |          |                           |              |              |             |           |
| カスタムIC           |             | ●               |           | ●                              | ●           | ●        |                           |              |              |             |           |
| <b>電子部品</b>      |             |                 |           |                                |             |          |                           |              |              |             |           |
| 液晶パネル            |             |                 |           | ●                              |             |          |                           |              |              |             |           |
| 有機EL             |             |                 |           | ●                              |             |          |                           |              |              |             |           |
| 水晶デバイス           |             |                 |           |                                | ●           |          |                           |              |              |             |           |
| コネクタ・スイッチ・プリント基板 |             |                 |           |                                |             |          |                           |              |              | ●           |           |



- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



| 社名             | 本社     | 設立年月     | 出費比率   | 事業内容                       |
|----------------|--------|----------|--------|----------------------------|
| 丸文通商株式会社       | 石川県金沢市 | 1961年3月  | 100.0% | 医用機器、試験計測機器及び電子部品の仕入販売     |
| 株式会社 北信理化      | 長野県長野市 | 1951年11月 | 100.0% | 試験計測機器の仕入販売                |
| 株式会社 池田医療電機*   | 新潟県新潟市 | 1961年8月  | 41.0%  | 医用機器などの販売・修理・メンテナンス        |
| 丸文ウエスト株式会社     | 兵庫県神戸市 | 2005年5月  | 100.0% | 試験計測機器の仕入販売                |
| 株式会社 フォーサイトテクノ | 東京都江東区 | 1999年3月  | 51.0%  | 機器の据付・保守を含めたエンジニアリングサービス提供 |

※ 持分法適用関連会社

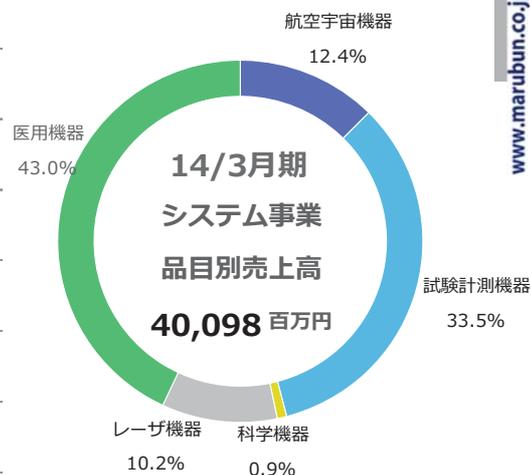
(2014年10月末現在)

# システム事業：主要取扱い製品

システム事業

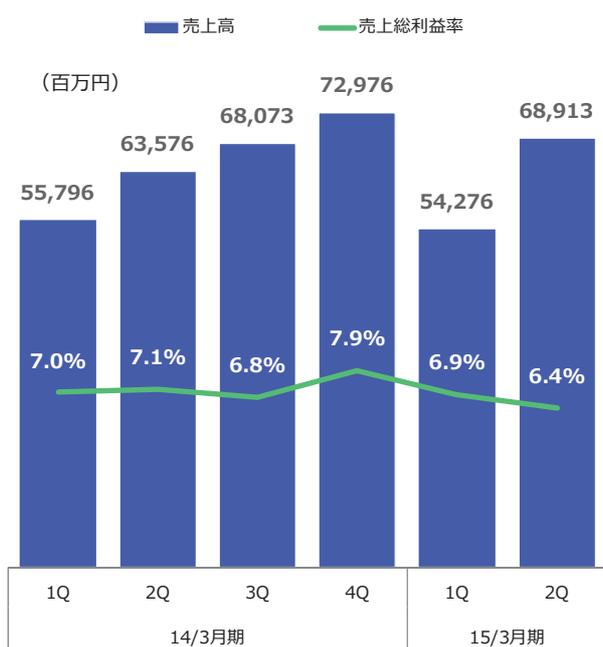


| 分野     | 主要取扱商品                  | 主要仕入先   |
|--------|-------------------------|---|
| 航空宇宙機器 | 高信頼性部品、計測・センサ           | Tele Communication Systems、Plascore、Lavision          |
|        | 航空関連機器、高周波電子機器          | CPI、L3 Communications                                 |
| 試験計測機器 | 検査装置・試験計測器<br>ボードコンピュータ | アキム、島津製作所、<br>アーティセン、ADLINK                           |
|        | 製造装置・組立装置               | セイコーエプソン、<br>日本アビオニクス                                 |
| 科学機器   | MOCVD装置、MBE装置           | AIXTRON、Riber   |
| レーザー機器 | 半導体レーザー・レーザー加工機         | nLight、Laserline                                      |
|        | ネットワーク・光学部品             | Microsemi、Calnex Solutions、<br>Excelitas Technologies |
| 医用機器   | 画像診断機器                  | 島津製作所、シーメンスジャパン、<br>コニカミノルタヘルスケア                      |
|        | 人工透析機器                  | 日機装、旭化成メディカル、<br>カネカメディックス                            |



www.marubun.co.jp

# 業績四半期推移（売上高・売上総利益・販売管理費）

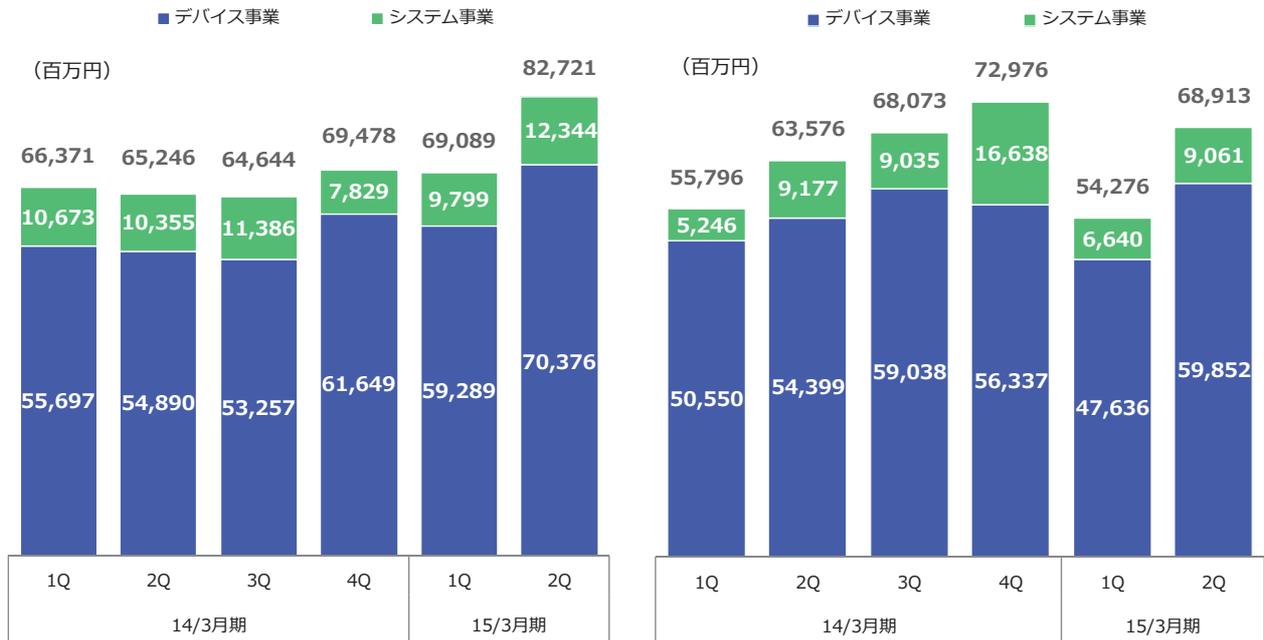


www.marubun.co.jp

## 業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

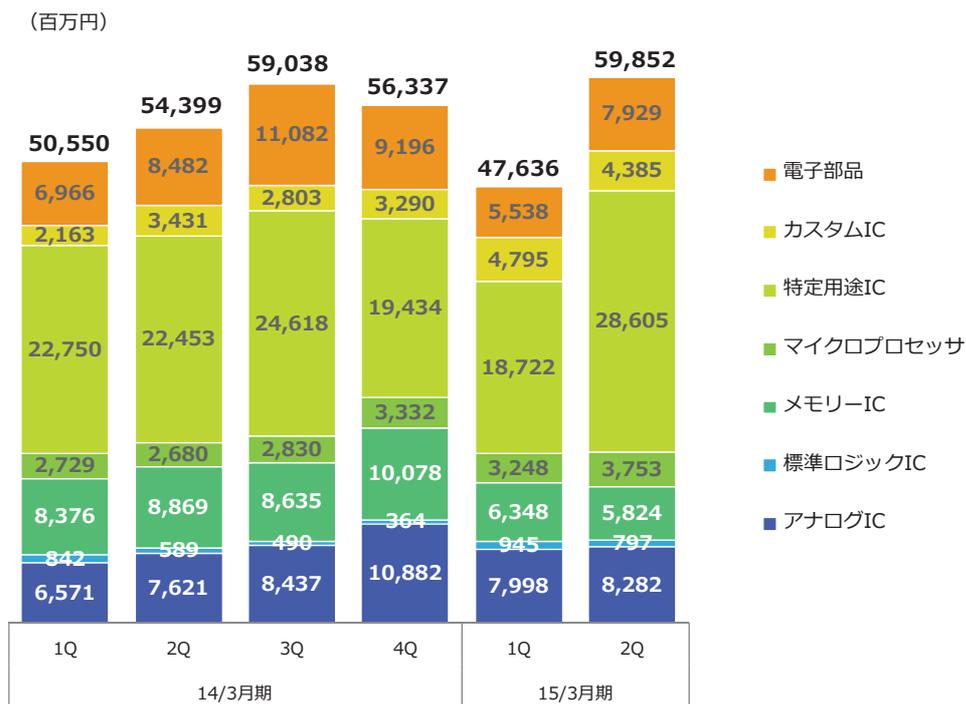
事業別受注高

事業別売上高



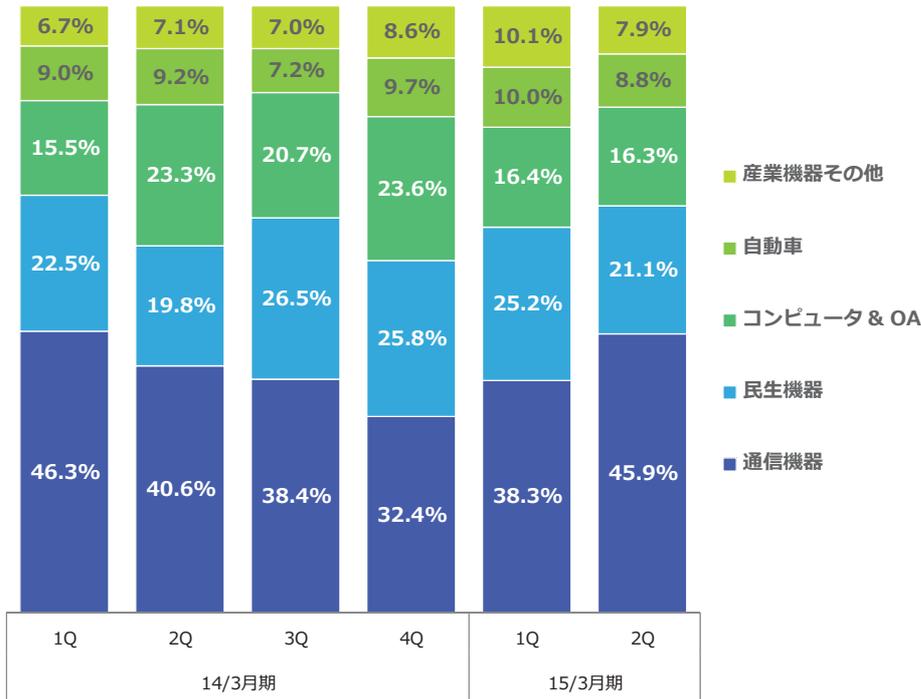
www.marubun.co.jp

## 業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）

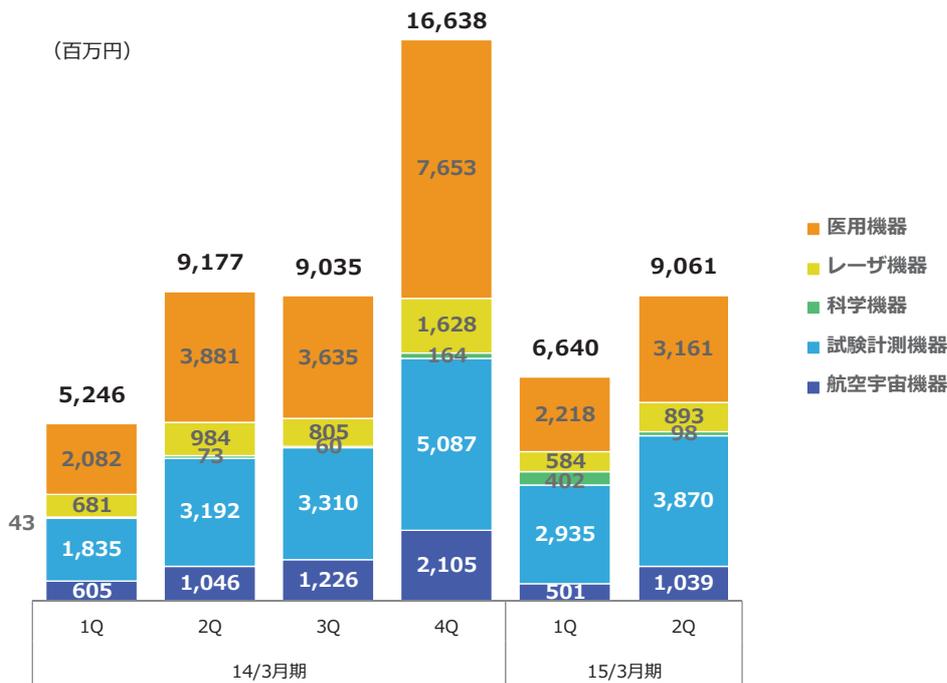


www.marubun.co.jp

## 業績四半期推移（デバイス事業：用途別売上高構成比）



## 業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）



## 本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

### 本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

TEL 03-3639-3010

E-mail ir@marubun.co.jp